

2022 年 4 月 20 日

改版日：2022 年 8 月 22 日

お客様各位

株式会社 セゾン情報システムズ
カスタマーサクセスセンター
HULFT テクニカルサポートセンター

DataSpider Servista Google Workspace アダプタの OAuth 2.0 で接続するための認証情報の発行方法の変更について

平素より、テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

2022 年 2 月 28 日に Google Cloud Platform が更新されたことにより、DataSpider Servista の Google Workspace アダプタで OAuth 2.0 で接続するための認証情報を発行する設定方法が変更となりましたため、ご報告申し上げます。

Google Workspace アダプタをご使用のお客様は、下記内容をご確認ください。

－記－

1. 対象製品及びバージョン

- DataSpider Servista Advanced Server Package 3.1 SP5 以降
- DataSpider Servista Basic Server Package 3.1 SP5 以降
- DataSpider Servista Select 3.1 SP5 以降
- DataSpider Servista with Software Protection 4.0 SP1 以降

2. 影響範囲

- Google Workspace アダプタ
(Gmail アダプタ / Google ドライブアダプタ / Google スプレッドシートアダプタ)

3. 発生事象

G Suite アダプタ OAuth 2.0 接続設定ガイドの 3.2.3. 認証情報の発行に記載している設定方法で OAuth 2.0 認証が設定できない。

4. 発生条件

2022 年 2 月 28 日以降に Google Workspace アダプタで OAuth 2.0 認証設定の認可コードを取得しようとした場合に発生することがあります。

※ 2022 年 2 月 28 日以前に Google Cloud Platform で設定を行っている場合、本事象は発生しないことを確認しております。(既存の設定済のグローバルリソースには影響はありません)

5. 対処方法

G Suite アダプタ OAuth 2.0 接続設定ガイドの 3.2.3. 認証情報の発行について、現在の Google Cloud Platform と整合していない箇所があります。

以下に整合していない箇所を転載いたします。その下に記載している「設定方法」をご参照の上、設定してください。

3. サービス名の設定を促すメッセージが表示された場合、「同意画面を設定」を押下し、同意画面に必要な内容を設定して、「保存」を押下します。

設定方法

同意画面を設定する際に、User Type で「外部」を指定して「作成」を押下してください。

「作成」を押下した後に表示されるアプリ情報の画面では、任意の内容を設定してください。

※ 作成した直後では、公開ステータスは「テスト」になります。

公開ステータスは変更しないようにしてください。

※ グローバルリソースの OAuth 2.0 認証設定のグローバルリソースを設定した後は、同意画面のユーザーの種類、公開ステータスは任意に変更して問題ありません。

4. アプリケーションの種類に「その他」を選択して、クライアントの名前を設定して、「作成」を押下します。

設定方法

アプリケーションの種類で「デスクトップ アプリ」を指定してください。

※ 「その他」は表示されません。

なお、OAuth 同意画面で上記の値ではなく、以下のいずれかを指定した場合、Google Workspace アダプタのグローバルリソースで認可コードを取得しようとする時、"エラー 400: invalid_request"が発生して認可コードの取得に失敗します。

- ・ユーザーの種類：内部
- ・ユーザーの種類：外部、かつ、公開ステータス：本番環境

6. 今後の対応

Google Cloud Platform の OAuth 同意画面で以下の設定を指定した場合にも認可コードを取得できるように動作を修正した単体パッチのリリースを検討しております。

- ・ユーザーの種類：内部
- ・ユーザーの種類：外部、公開ステータス：本番環境

リリース予定日：2022 年 9 月 5 日

対象バージョン：

- DataSpider Servista 4.4
- DataSpider Servista 4.3 SP2

7. 補足

Google 社によるセキュリティ強化のために、新規 OAuth で使用する OAuth フローにおいて、アウトオブバンド（OOB）がブロックされるように更新されたことが原因です。

・ Google Developers Japan: セキュリティが強化された OAuth フローで Google OAuth インタラクションの安全性が向上 (googleblog.com)

URL : <https://developers-jp.googleblog.com/2022/03/oauth-google-oauth.html>

Google Workspace アダプタでは、接続のための設定値で OAuth アウトオブバンドの値 (redirect_uri =urn:ietf:wg:oauth:2.0:oob) を使用しているため、上記の更新により新規 OAuth で使用する OAuth フローがブロックされています。

8. 当ご案内に関する問い合わせ先

技術サポートサービス契約先にお問い合わせください。

以上

【改訂履歴】

2022年4月20日	初版作成
2022年8月22日	6. 今後の対応 パッチのリリース予定を記載しました。